

みんなで知恵をだしあおう 古代から未来への道
京奈和自動車道

「大和北道路」

奈良県北部には、
世界遺産をはじめ、
数多くの文化財があります。
大和北道路の計画は、
これらの地域状況をふまえ、
検討を行っていきます。

奈良のいまを超える可能性を
引き出すために。京奈和自動車道
「大和北道路」の計画が進行します。
みなさまのご意見をお聴きするために、
「大和北道路」の計画は、PIプロセスを
導入し進めていきます。

※PIプロセスとは、検討過程において、「一般に情報を公開したうえで、
広く意見を聴き、反映させる方法のことです。」

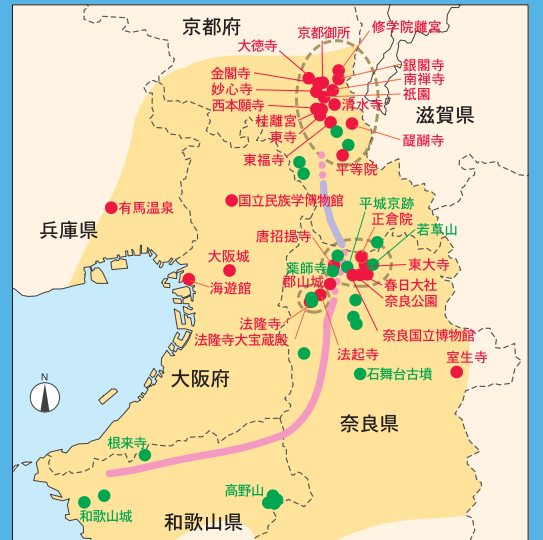


地域に恵みと快適を生みだします。

産業発展への支援

観光圏が広がることで 観光産業が発展

京奈和自動車道が開通すれば、観光地間の所要時間が短縮。京都方面からの日帰り観光の需要の掘り起こし、奈良・明日香の周遊観光パターンの定着など、観光客数の増加による地域活性化が期待できます。



出典：観光物件の紹介については、JTB出版事業局発行のガイドブック「ひとり歩きシリーズ」
「るるぶ情報版」「新日本ガイド」などを参考。(滋賀県・三重県は1時間圏の対象としていません)

凡例
● 国際的に優れた物件
● その他主要な観光ポイント
○ 世界文化遺産が含まれる地域
■ 京奈和自動車道に1時間で到達可能地域

なぜ、PIプロセスを導入するのですか？

大和北道路を計画している地域は、重要な文化財が豊富にあり、また住宅が密集しています。
このため、計画を検討する過程で、さまざまなご意見をお聴きして、道づくりを進めていく必要があるからです。



■ 大和北道路は、京都市～和歌山市間をつなぐ京奈和自動車道の一部で、京都府との境から西名阪自動車道の区間の名称です。

ご意見、ご質問をお待ちしています。

大和北道路有識者委員会 事務局 TEL.0742-33-1391

〒630-8115 奈良市大宮町3-5-11 <http://www.kkr.mlit.go.jp/nara/>

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所 調査第二課内

大和北道路有識者委員会

奈良が誇る8つの資産「古都奈良の文化財」が、世界遺産に登録されています。



平城宮跡



興福寺

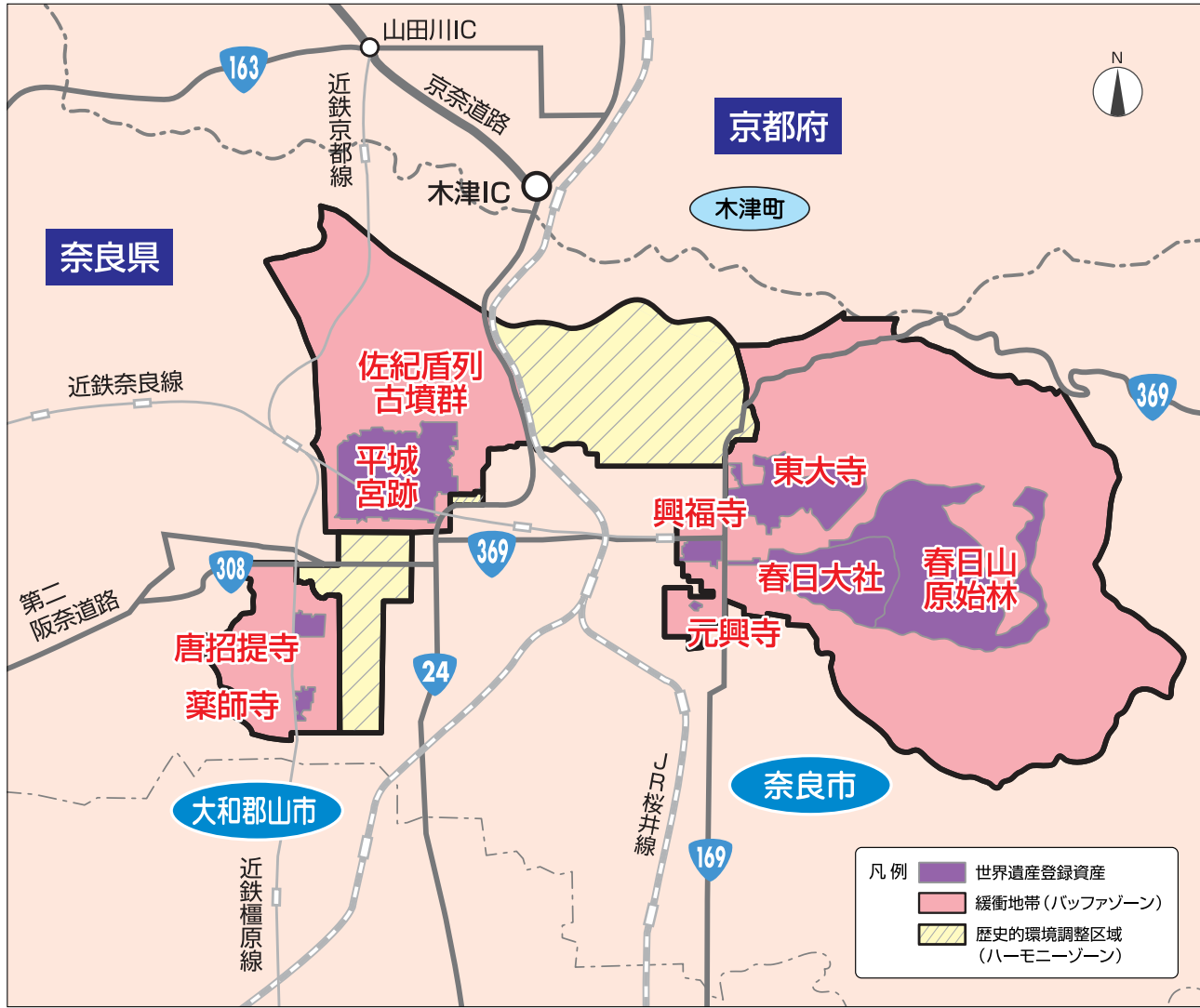


東大寺



春日山原始林

写真：奈良市観光協会



唐招提寺



薬師寺



元興寺



春日大社

写真：奈良市観光協会

世界遺産「古都奈良の文化財」について

古都奈良の文化財

「古都奈良の文化財」は、次の8つの資産で構成されています。

- 国宝建造物があり、敷地が史跡に指定されている
— 東大寺、興福寺、春日大社・元興寺・薬師寺・唐招提寺 —
- 特別史跡・特別天然記念物に指定されている
— 平城宮跡・春日山原始林 —

「古都奈良の文化財」では、2種類の区域が設けられています。

緩衝地帯 (バッファゾーン)

遺産の周辺環境を直接保護するための区域。春日山地区、平城宮跡地区、西ノ京地区の3か所に設けられています。

歴史的環境調整区域 (ハーモニーゾーン)

環境保全と都市開発との調和を図るための区域。8資産の一体的保全のため各緩衝地帯の間に設けられています。

● 区域の設定について

奈良は多くの人に愛されています。その愛すべき奈良のまちの健全な発展を図るため、従来から都市計画に一定のルールが定められてきました。

- 歴史的風土特別保存地区 [古都保存法]
- 風致地区 [奈良県風致地区条例]
- 都市景観形成地区 [奈良市都市景観条例]

など、既存の地域地区の中から8資産の保全のために必要な範囲が、緩衝地帯および歴史的環境調整区域として評価されました。世界遺産登録のために新たな規制が設けられたものではありません。

世界遺産、住みやすい環境を守りながら進めていくために、構想段階から客観的に調査、検討を重ねています。

検討過程に第三者機関として「大和北道路有識者委員会」が関わり、透明性を高くして公正さを確保します。

PIプロセス導入に先立ち、国道24号奈良バイパス周辺を中心とした地域は、世界文化遺産の「平城宮跡」をはじめとするきわめて重要な文化財が数多く存在しており、文化財の保全等の観点より、埋蔵文化財や地下水の現況を正確に把握したうえで、道路建設が及ぼす影響を検討する必要があるため、地下水検討委員会を設置しました。地下水検討委員会の検討結果等を踏まえつつ、道路建設における埋蔵文化財保護の観点からの配慮事項について専門家のご意見をいただき、PIプロセス導入時の基礎資料とするために文化財検討委員会を設置しました。

地下水検討委員会

(平成13年7月～平成14年3月)

目的／大和北道路のルート・構造の検討にあたり、地下水の現況分析を行うとともに、道路建設と地下水挙動との関係を予測・評価。

結果／構築したモデルは、現地の地下水状況をよく再現しており、道路建設と地下水挙動の関係を予測評価する上で信頼できるモデルである。予測評価の結果、道路建設による地下水位変動は最大2cm程度であり、年間をととした季節変動(約40～150cm)より小さい。

文化財検討委員会

(平成14年3月～平成14年7月)

目的／地下水検討委員会による検討結果等を踏まえつつ、道路建設における埋蔵文化財保護の観点からの配慮事項について文化財等の専門家のご意見をいただく。

提言項目／Ⅰ 文化財検討委員会設置の目的と審議の経過
Ⅱ 史跡としての平城宮跡の意義
Ⅲ 道路建設が埋蔵文化財等に及ぼす影響
Ⅳ 文化財検討委員会としての提言

大和北道路有識者委員会

(平成14年9月～)

目的／大和北道路の計画において、手続きの透明性、客観性、公正さを確保するため、公正中立な立場から、PIプロセスの進め方について審議、評価し、意見の把握、分析を行い、それらを踏まえて推奨すべき計画案等について審議し、提言する。



都市計画、環境アセスメント
手続の実施